

### ■研究活動（フェーズⅠ：課題の抽出と実践）

- ① スポーツクラブ設立と組織体制の整備を行う。
- ② 女性のスポーツ・運動実施状況や阻害要因を明らかにする。
- ③ 天理市民のスポーツ・運動実施状況に関する現状を把握する。
- ④ 若年者のスポーツ・運動への参加状況を調査する。
- ⑤ 運動指導アドバイザーの養成プログラムを開発する。
- ⑥ 障がい者と地域住民が集う「居場所」におけるスポーツ・運動実施状況を把握する。

### ■ブランディング戦略【ブランディングの明確化】

地域のスポーツ・健康づくりの研究拠点を本学に形成することを学内外に公表し、「天理大学スポーツブランド」のイメージを明確化する。本年度はステークホルダーへの調査が中心となることから、本学の取り組みを調査を通じて発信する。HPやSNS等を用いた広報戦略を決定する。また、公開シンポジウムを開催して、地域の課題解決を天理市と共有する。

### ■研究活動

#### 【地域スポーツ研究チーム】

- ① 本学にスポーツクラブを設立し、子どもの運動技能向上を目指した指導法を検討する。
- ② 天理市内の小・中・高の女子児童や生徒に対して、スポーツ・運動実施状況の調査を行う。
- ③ 天理市民を対象にスポーツや運動実施率、やってみたいスポーツ、スポーツ観戦経験などの調査を行い、天理市行政との協力体制を確立する。

#### 【健康づくり研究チーム】

- ④ 天理市教育委員会と連携し、市内の小学生をターゲットとしたスプリントやジャンプ能力を改善するトレーニング介入の研究を行う。
- ⑤ 地域の健康づくり・介護予防のリーダーとなる「運動指導アドバイザー」養成のための教育プログラムを開発する。
- ⑥ 障害福祉サービス事業所、当事者団体、相談機関・施設をターゲットとして、地域の「居場所」を作り出すツールとしてのスポーツ・運動の現状と問題点、課題を調査する。

### ■ブランディング戦略

HPやSNS等の情報発信ツールにより、学内外に積極的に本事業への取り組みを公表する。本学の事業への興味・関心を引き寄せる。

### ■目標達成度の測定方法

各ステークホルダーに対するアンケート調査を実施し、KPIに関わる初年度のベースライン・データを収集し、現状のブランド力を明確にする。